

(写真・文 太田祥作)

## ハギマシコ (学名: *Leucosticte arctoa*)

【スズメ目アトリ科】



▲ 融雪した地表で餌を探す。1月、塩沢地区にて撮影

ハギマシコはスズメ目アトリ科の小鳥です。黄色い嘴に、後頭部は黄褐色、さらに腹部や翼の一部は薄紅色を帯び、落ち着いた美しさを感じさせます。

ハギマシコは寒冷地を好み、夏はロシア東部などで繁殖し、日本には冬鳥として渡来します。中部地方以北で確認されることが多く、北国ならではの冬鳥と言えるでしょう。

町内では12月から2月の厳冬期に観察されますが、豪雪の只見は餌が少ないためか、数は多くありません。常に群れで行動しています。町内では2~3個体の小群がふつうで、ときたま10個体程度の群れを目にする程度ですが、地域によっては数百を超える大集団を形成します。また、渡来数は年によって変動し、たくさん見られる年と殆ど見られない年があることでも知られています。

町内でハギマシコを探すには、除雪された道路沿いが適しています。これは、植物の種子などの餌を食べるハギマシコが、除雪により地面や植物が露わになった場所を餌場として利用しているためです(写真を参照)。また、種子を実らせた樹木にとまって種子を食べていることもあり、木々をチェックしてみるのも良いでしょう。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

ただみ・ブナと川のミュージアムでは下記企画展を開催中です。  
どうぞお越してください。

#### 企画展アーカイブ・プラス「只見の自然を食べる」

会期：2023年12月2日(土)~2024年4月21日(日)  
場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー